

夏草の熊本をまた揺らすかな

(東京都新宿区) 各務 雅憲

☆沖にまだ未来はありや草田男忌

(延岡市) 金丸 浩樹

八月やひもじさだけが蘇る

(太田市) 吉部 修一

ライオンが三頭も死ぬ暑さかな

(鎌倉市) 佐々木 眞

熊本の酷暑の中に大地動

(福岡市) 釋 鯛硯

八月や二十世紀を生きしこと

(鎌倉市) 保坂たつき

八月は三百万の骸抱く

(東京都杉並区) 黒澤 克昭

生涯を倭武多と伴に津軽衆

(青森市) 天童 光宏

熊本を想ふ夏空つづきけり

(柳川市) 井手 友子

阿呆らの一糸乱れぬ阿波踊

(横浜市) 西川 和明

【評】熊本大地震の句あまた。一席。夏草の熊本——。いつせいに揺れる夏草。二席。〈玫瑰や今も沖には未来あり〉中村草田男。一世紀後の問い。三席。戦中、終戦、戦後。切実な記憶。十句目。「踊る阿呆に見る阿呆」。阿波踊りをたたえる。

折鶴をふたつ吊るして原爆忌

(相模原市) はやし 央

☆沖にまだ未来はありや草田男忌

(延岡市) 金丸 浩樹

軍服の若き笑顔や鳳仙花

(さいたま市) 松井 明彦

開拓碑灼けて白寿の母逝けり

(富士宮市) 羽田さとし

きみと焚きし迎へ火今宵きみに焚く

(秩父市) 浅賀信太郎

制服より浴衣の似合ふ婦警かな

(大村市) 小谷 一夫

空爆を逃れ生きのび夏を哭く

(千葉市) 牛島 晃江

同齡の作家逝きけりダリア活く

(上尾市) 大野 康子

幼子の無心に祈る原爆忌

(嘉麻市) 松井 春光

終戦日戦語らず父は逝き

(川口市) 渡辺 栄治

【評】第1句。昭和20年8月、広島・長崎に原爆が投下され多くの命が奪われた。核兵器廃絶を心より願う。第2句。草田男の名句「玫瑰や今も沖には未来あり」を想起し現状を鑑みる。第3句。この「若き笑顔」、無事帰還されたか。